

発行

日本共産党

佐野弘美事務所

北区北20西5 2-27

Tel 011-790-6411

Fax 011-790-6412

日本共産党 道議会議員

佐野 弘美

月刊

いきいき道政報告

第22号

# 知事！・JR北海道の路線

## 守ると明言し、具体的行動を

### 知事総括質疑で知事にせまる

佐野道議は、道議会予算特別委員会最終日、総括質疑で、「JR北海道への支援」と「温泉施設の硫化水素対策」を高橋知事に迫りました。

### JR北海道支援を道主導で

JR北海道は分割民営化当初から大幅な赤字経営が見込まれ、その補てんとして国から経営安定基金を手当されました。しかし、毎年500億円程度と見込まれた運用益は、初年498億円から大幅に減少し続け、29年間の累計で4300億円もの不足です。

それにはたいする国の助成は600億円、無利子貸し付けが1200億円に過ぎません。

「この事実をふまえて、国にどのような財政支援を求めるつもりか」と

質問しました。

知事は「JR北海道の持続的な経営構造を確立するため、実効ある支援が講じられるよう国に求めていく」との答弁にとどまりました。

「利用者の立場にたつてどう取



予算特別委員会で総括質疑に立つ

佐野道議 3月21日

り組むのか」とただしても、知事は「私自身が先頭に立って…公共交通ネットワークと地域交通を守るために取り組む」と答えるのみで、佐野道議は「具体性に欠ける。地域の声を受け止め地域に寄り添って北海道の鉄道を守るよう行動すべき」と指摘しました。

### 硫化水素対策の推進を

道内の温泉で入浴客が倒れて2年半。環境省の全国調査で硫化水素濃度が基準値を超える施設について、北海道だけは数値等を報告せず、公表もしていません。濃度測定や安全対策に努めているのに利用客が半減するなど、風評被害も生じています。佐野道議は、観光資源の安心と信頼のために公表するよう迫りました。

それまで道は概要のみにとどめ、数値等は公表しない方針でしたが、知事は「国の新基準を見極めつつ、(公表方法を検討する」と答えました。

## 指定管理施設へ

### 労働時間把握の通知

北海道は 21 日、指定管理者に、労働時間の適正な把握を求める通知を出しました。

通知は「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドラインについて」で、厚生労働省が 1 月に出した過重な長時間労働や未払い残業などの問題解決にむけたガイドラインに基づいています。

これは佐野道議が 17 日の予算特別委で取り上げ、道が 3 月末までに「周知する」と回答していたものです。

道はこれまでに知事部局と地方振興局、市町村、道・市町村立学校には、同ガイドラインに基づく通知を出してきました。今回の指定管理者（45 企業・17 市町村）62 団体へ向けた通知は、それらに続く措置です。

## 産後ケア事業の拡充を

予特で質問する佐野道議 3 月 15 日



全国調査で、産後うつ  
の疑いが 8・1% にな  
ることが明らかにな  
り、国は今年度から、  
2 回の産婦健診を助  
成する事業を開始し  
ました。

道は昨年度から開  
始した、遠隔地通院の  
妊産婦に交通費を助  
成する「妊産婦安心出  
産事業」にこの産婦健  
診も含めて助成する  
ことを明らかにしま  
した。しかし、助成対  
象自治体のうち 3 分  
の 1 は未実施です。佐  
野道議はすべての自  
治体で実施するよう  
求め、道は市町村から  
聞き取るなど、実施拡大に取  
り組むと答えました。

### 産後ケア事業充実を

少子化や核家族化が進み、  
自身の出産までに子育て経験

### 産婦健診へ支援を

厚労省の産婦を対象にした

予算特別委員会で佐野道議は、  
産後うつと産後ケアについて取  
り上げ事業の充実を求めました。

がない、様々な事情で産後に  
家族からの十分な支援が受け  
られないなど、産後ケアのニ  
ーズが高まり、全国で取り組  
みが広がっています。産後  
のお母さんを支援して産後うつ  
を防ぎ、産後の社会復帰を促  
す産後ケア事業ですが、道内  
では 5 市町（札幌市、小樽市、  
函館市、北斗市、釧路町）と  
まだ少数です。

佐野道議は子育て支援の重  
点政策に産後ケアを位置づけ、  
ニーズ調査やケアの充実を取  
り組む山梨県を例示し、道に  
産後ケアの充実を求めました。

道は、各種子育て支援を切  
れ目なく提供する「子育て世  
代包括支援センター」につい  
て国の補助を周知し設置を促  
進するとともに、市町村に対  
し産後ケア事業の実施にあた  
つての課題等の調査を行い、  
取り組みが進むよう支援を検  
討すると答えました。

## 看護師の勤務環境改善を

2015年の厚労省調査で、看護師の二交代制勤務が病院の六割超、1回あたりの平均夜勤時間が16時間超と過酷な状況が明らかになりました。道は看護協会の調査で看護師の勤務実態を把握しているのですが、佐野道議は現行では厳しい実態は見えないと指摘、時間外手当のつかない超勤の実態や、休日の実日数、実際の夜勤時間など、調査項目や方法を改め、その上で看護師を増員する計画にするべきと迫りました。

看護政策担当課長は「調査項目の見直しを行いながら、勤務実態の把握に努める」と答え、保健福祉部長は「勤務環境の改善にも配慮した看護職員の確保対策の充実に努める」と答えました。

## 働き方改善して

KKR札幌医療センターの新卒看護師、杉本綾さんが過労自死してから4年4か月。今、労災認定を求め、裁判がたたかわれており、支援する会主催の講演会・総会に参加しました。

### 過酷な看護現場

「看護崩壊」などの著者で医療の現場を取材、追及しているジャーナリストの小林美希さんが講演しました。3交代だと夜勤は月に10〜12回、「日勤」深夜「準夜」日勤」など、勤務間隔、休日確保されなかったため、やむを得ず2日分まとめて働く2交代が広がり、16時間以上の夜勤で過酷さを増しています。妊娠しても夜勤が免除されず3人に1人が切迫流産、続けたくても続けられない状況が人手不足に拍車をかけます。労働組合の必要性と、根底にある国の医療政策―診療報酬、看護師等の配置基を変え

るために、世論、現場の声を政治に届けることが重要と話されました。

### 過労死をなくしたい

綾さんのお母さんは「4年が過ぎた今でも、冬になると寂しくて涙が出る。街中で娘に似た後姿を見つけると、前に回って顔を確かめずにいられない」と話されました。綾さんと同期入職の7人も、1人を残して4年で全員退職しています。裁判についてテレビ放送された後、「私も同じ」「何度も自殺未遂をした」「やっと明るみに出た」などの反響が三千件以上も寄せられたそうです。この病院だけの問題ではありません。



看護師としても、この思いを深く受け止め、支援していきたいと思えます。

## 石狩湾新港の巨大風車

巨大風車の低周波音によって、睡眠障害や頭痛、めまいなどの症状に悩まされる方がいます。石狩市で行われた学習会では、北大大学院教授の松井利仁氏が、低周波音は不快だけでなく、内耳にある前庭が振動して頭痛などが発症するメカニズムを明らかにし、音の大きさと発症率は比例して上がっていく事が説明されました。

これまでは、人口の少ない山間地域での建設が多く、都市部での建設は例がありません。新エネルギー推進には賛成ですが、巨大風車の子どもへの影響や林立による影響も未知数であり、建てる前の十分な検証が必要だと思いました。

# 道政報告会

## 2会場とも大盛況

第一定例道議会を終えた4月8日、プラザ新琴似と篠路駅前団地福祉会館で道政報告会を行いました。両会場とも、佐野道議が報告を行い、続いて質疑応答を行いました。

佐野道議からは、日本共産党道議団が4議席となり会派となったことで、質問時間、委員会配置が広がり、活動範囲が格段に広がったことを紹介し、北区の道議の議席の重要性について訴えました。会派となったことで、いのち・くらし優先の道予算に改めるよう求める「組み替え動議」が提案できるようになったこと、意見書の調整を行う政審連絡会議に出席できるようになり、介護士の処遇改善や子ども医療費の無料化

を求める意見書など、共産党の提案で道民の願いに沿った意見書をこれまで13本成立させたことなどや、この期1定議会での主な内容について報告しました。

### プラザ新琴似で

椅子を追加し、資料不足を心配するほど盛況でした。「昔、木銃は天皇からの賜り



道政報告する佐野道議  
プラザ新琴似会場 4月8日

物と叩き込まれた、銃剣道は教えるべきでない」「スキー学習など親の経済的負担が心配。道は雪の文化を子どもたちが楽しめるよう支援すべき」「このままでは北海道の鉄道が明治に戻ってしまふ。鉄路を守るべき」「150年事業はほとんどの道民が知らない。問題点を明らかに」「知事の出張費について質問した後、どうなったか」など、活発に意見が出され、道政を身近に感じ、議論する場となりました。

### 篠路福祉会館で

机を「□」の字に並べて座り、参加者全員が発言する和やかな報告会になりました。「かつて、軍人が来校して銃剣道を指導した。戦闘そのもので、教育にそぐわない」「2交代の夜勤は本当に大変。看護や介護、保育を支援するべき」「道議の活動がわかり、

2期目を目指して私たちも頑張らなければと思った。得意分野でもっとがんばってほしい」と激励もいただきました。

この日に出されたご意見等を力に、引き続き全力で頑張ります。

### 街頭でも報告

4月3日朝、地下鉄24条駅前で道政報告を行いました。第一定例議会でも、議員団が予算組み替え動議を提出したことや、佐野道議が知事総括



佐野道議の街頭報告  
4月3日

質疑に立ち、JR北海道支援や温泉施設の硫化水素対策などを知事に直接ただしたことを報告しました。